

前画面へ戻る

科目名	世界の中の日本B(歴史)
科目名(英訳)	Japan in the World B (History)
科目ナンバー	HH134A04
詳細情報	授業外学修時間:週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	篠宮 雄二 小林 博行
単位数	2
開講学年	1年
開講セメスター	秋期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択:HH
他学科受講	
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	専門共通科目。歴史学の特質や意義を理解するための基礎的な科目である。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:○ ②:○
身につく基礎力 / 身につく汎用力	傾聴・受信力 クリティカル思考力 / 豊かな教養 専門的知識・技能 国際的な視野

授業の主旨 (概要)	教員免許(地歴、公民)取得を目指す学生を主に対象とし、日本列島上で展開した古代から現代に至る各時代ごとに、時代を特徴付ける歴史的 事象を取り上げ、同時代における世界史の流れや国際関係などを視野に入れて解説する。あわせて関連する歴史史料の解説と解説を行う。 【実務経験のある教員等による授業科目】 該当教員1:篠宮 雄二 実務経験内容:愛知県教諭(県立江南高校勤務)、「日本史」「現代社会」担当 授業内容との関連性:実務経験を活かし、教員免許(地歴、公民)取得を目指す学生を主に対象とし、日本列島上で展開した古代から現代に至る 各時代ごとに、時代を特徴付ける歴史的事象を取り上げ、同時代における世界史の流れや国際関係などを視野に入れて講義する。あわせて 関連する歴史史料の解説と解説も行う。	
具体的 達成目標	日本史を中心とする歴史に関する基礎的知識の修得、および諸事象を生み出した歴史的な要因を考察、把握する能力を修得することを目的と する。具体的には、以下の3項目を達成目標とする。 (1)各時代の政治・経済・文化の特徴が記述できるようにする。(豊かな教養) (2)各時代の特徴を生み出した要因について、国内的要因とともに国際関係など世界史の流れのなかで解説できるようにする。(国際的な視野) (3)史料を解説し、史料から歴史を把握・考察できるようにする。(専門的知識・技能)	
	1	【内容】(第1週)導入ー授業の概要と基礎的事項についての説明ー 【授業外学修】【授業外学修・事前】シラバスを熟読する 【授業外学修・事後】日本史を中心とした歴史の流れを整理する
	2	【内容】(第2週)律令国家 【授業外学修】【授業外学修・事前】資料レジュメを熟読する 【授業外学修・事後】授業内容を整理し、理解できなかった事項や疑問点などをまとめる
	3	【内容】(第3週)平城京・平安京 【授業外学修】【授業外学修・事前】資料レジュメを熟読する 【授業外学修・事後】授業内容を整理し、理解できなかった事項や疑問点などをまとめる
	4	【内容】(第4週)武士と館 【授業外学修】【授業外学修・事前】資料レジュメを熟読する 【授業外学修・事後】授業内容を整理し、理解できなかった事項や疑問点などをまとめる

授業計画	5	【内容】	(第5週)中世都市・京都				
		【授業外学習】	【授業外学修・事前】資料レジュメを熟読する 【授業外学修・事後】授業内容を整理し、理解できなかった事項や疑問点などをまとめる				
	6	【内容】	(第6週)倭寇・琉球・蝦夷ヶ島				
		【授業外学習】	【授業外学修・事前】資料レジュメを熟読する 【授業外学修・事後】授業内容を整理し、理解できなかった事項や疑問点などをまとめる				
	7	【内容】	(第7週)戦国の村と領主				
		【授業外学習】	【授業外学修・事前】資料レジュメを熟読する 【授業外学修・事後】前半の授業内容を整理し、理解できなかった事項や疑問点などをまとめる				
	8	【内容】	(第8週)前半授業(第1週～第7週)の総括および試験				
		【授業外学習】	【授業外学修・事前】1～7週の授業内容を整理する。 【授業外学修・事後】1～8週の授業内容全体を整理し、理解を深める				
	9	【内容】	(第9週)鉄砲とキリスト教				
		【授業外学習】	【授業外学修・事前】資料レジュメを熟読する 【授業外学修・事後】授業内容を整理し、理解できなかった事項や疑問点などをまとめる				
	10	【内容】	(第10週)変化する近世社会				
		【授業外学習】	【授業外学修・事前】資料レジュメを熟読する 【授業外学修・事後】授業内容を整理し、理解できなかった事項や疑問点などをまとめる				
	11	【内容】	(第11週)開国から殖産興業へ				
		【授業外学習】	【授業外学修・事前】資料レジュメを熟読する 【授業外学修・事後】授業内容を整理し、理解できなかった事項や疑問点などをまとめる				
	12	【内容】	(第12週)日清・日露戦争				
		【授業外学習】	【授業外学修・事前】資料レジュメを熟読する 【授業外学修・事後】授業内容を整理し、理解できなかった事項や疑問点などをまとめる				
	13	【内容】	(第13週)満州事変から敗戦まで				
		【授業外学習】	【授業外学修・事前】資料レジュメを熟読する 【授業外学修・事後】授業内容を整理し、理解できなかった事項や疑問点などをまとめる				
	14	【内容】	(第14週)講話と経済成長				
		【授業外学習】	【授業外学修・事前】次回授業内容全体を確認し、各授業の課題について考察する 【授業外学修・事後】授業内容を整理し、理解できなかった事項や疑問点などをまとめる				
	15	【内容】	(第15週)後半授業(第9週～第14週)の総括および試験				
		【授業外学習】	【授業外学修・事前】9～14週の授業内容を整理する。 【授業外学修・事後】9～15週の授業内容全体を整理し、理解を深める				
	授業方法	文献史料を中心とする資料を配付し、講義形式で行う。					
	成績の評価方法	上記達成目標(1)(2)(3)を確認するため、第8週目・第15週目に実施する試験によって評価する。					
	成績の評価基準	第8週目の実施する試験(50%)、第15週目に実施する試験(50%)。					
	教科書						
	参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
		1.	『全集 日本の歴史(1～16巻、別巻)』		小学館		
		2.	『中学校社会科(歴史分野)教科書』				
		3.	『高等学校日本史教科書』				
4.		『教員となる人のための日本史』	青木美智男・木村茂光編	新人物往来社			

📌 備考	その他の参考文献は授業中に適宜紹介する。
📌 関連 ホーム ページ	
📌 メール アドレス	篠宮 雄二 sys1852@fsc.chubu.ac.jp 小林 博行 shk1587@fsc.chubu.ac.jp
📌 オフィス アワー	

[前画面へ戻る](#)